文星芸大附 now!

文星芸術大学
附属中学校・高等学校
〒320-0865
宇都宮市睦町1-4
電話(028)
636-8000(中学直通)
636-8585(高校直通)
http://www.bunsei-art.ac.jp
発行　教務部・学報編集係

卒業生諸君、果敢に挑戦せよ

文星芸術大学附属中学校・高等学校　**上野憲示**

二月二十日は、本学園の創立者上野安紹先生の御命日であった。

安紹先生は、地元宇都宮の子弟教育向上のためにと、明治四十四年、「宇都宮実用英語簿記学校」を創立され、また、文星女子高校に繋がる「宇都宮女子実業学校」を昭和四年に創設。さらには、その活動を学園外にも広げられ、県議会議員として政界に場を得て、教育界のみならず政治、さらに文筆活動にと幅広く活躍された。しかし、そうした激務もあってか、過労心労が重なり、惜しむらく、昭和五年二月二十日に四十五歳の若さで急逝された。以来、先生が創案された、卒業生の門出を前もって祝福する「予餞式・予餞会」をこの御命日に当たる二月二十日に催して、その遺徳を偲んでいる。

安紹先生は、「獅子象を擒（とら）うるに其の力を全うし、兎を擒うるに其の力を全うす」という「ライオン主義」の精神を信条とされ、ライオン校長との異名もある。何事にもどんな状況でも全力を尽くす「全力主義」で事に当たることを、日々生徒たちに説いていたという。

というのも安紹先生は、生徒たちが絶えず授業や部活動に全力で取り組み、実力を身につけ、卒業後に実社会で役に立つ戦力となって活躍することを心から期待し、自ら学校現場で陣頭に立って鋭意努力されていたからである。

卒業生の皆さん、諸君には、それぞれの進む道において悔いを残さぬよう、全力を尽くしてもらいたい。三年間の高校生活で自分自身を見つめ、進むべき道や目標を見出して果敢にチャレンジした結果、獲得したそれぞれの道。一人ひとりが抱くその夢に向かって、それぞれが健闘することを期待している。安紹先生も天上の世界から期待の目で見つめていることと思う。

卒業生諸君、是非、何事にも果敢に挑戦せよ。歯を食いしばり、失敗を恐れず、常に新たな気持ちで挑戦しよう。これからの飛躍のために！

大木廣巳書

文星芸大附now！は、平成17年4月に「文星芸術大学附属中学校」の開校に合わせて発刊されました。

1p <学校長より>
2p <卒業生へのメッセージ>
3p <表彰・受賞一覧>
4p <輝け！文星健児>
5p <卒業生に贈る言葉>
6p <スキー教室・生徒会選挙>
7p <文星散歩道『地球温暖化』>
8p <文星フォトギャラリー>

中学校行事予定

▽三月
- 1日(日) 高等学校卒業式
- 2日(月) 代休(高等学校卒業式)
- 7日(土) スケート教室
- 9日(月) 三年生を送る会
- 14日(土) 新入生オリエンテーション
- 16日(月) 三年生終業式・卒業式予行
- 17日(火) 第二回卒業式
- 24日(火) 一・二年生終業式

▽四月
- 4日(土) 在校生登校日
- 6日(月) 入学式
- 8日(水) 第一学期始業式・対面式

高校行事予定

▽三月
- 1日(日) 第八十一回卒業証書授与式
- 2日(月) 代休(卒業証書授与式)
- 3日(火)～6日(金) 学年末考査
- 9日(月) 身体計測・個人写真撮影
- 10日(火)～11日(水) 追試
- 10日(火)～23日(月) 臨時休業
- 14日(土) 新入生オリエンテーション(第一回)
- 22日(日) 新入生・保護者オリエンテーション(第二回)
- 24日(火) 第一・二学年修了式
- 25日(木) 在校生登校日(教科書購入日)

▽四月
- 4日(土) 在校生登校日
- 6日(月) 入学式
- 8日(水) 第一学期始業式・対面式

高等学校

卒業生へのメッセージ

風を捉える

教頭
富田　誠

人生においては、時に転機が訪れることがある。その時、どのように次の一歩を踏み出すか、ということが極めて重要なことになる。ふと気が付くと風が吹いている。「風に順いて呼ぶ」（荀子）―勢いに乗って事をなせば、早く容易に成功することのたとえだ。ただし、吹いている風にも色々あるだろう。どんな風が吹いているかよく吟味しよう。願わくは、「風に流される人生」ではなく、「風を捉える人生」でありたい。論語に曰う「十有五にして学を志す」時は過ぎた。次に来るのは、三十而立「三十にして立つ」時だ。また、四十而不惑「四十にして惑わぬ」時を迎え、更に、五十而知天命「五十にして天命を知る」時が来る。そのような節目節目を大切に感じ、その時吹いている風を的確に捉え、自らの心の中にある人生の哲学に恥じることのないように歩んでほしいと願う。次に出会うとき、君達はどんな風を捉えているだろうか。

三二八人におめでとう

第三学年総務
鈴木　幸夫

今までに何回となく卒業生を送り出してきたが、進級した生徒全員が揃って卒業を迎えたことは記憶にない。全員が卒業することなど当たり前のように思えるかもしれないが、なかなかできることではない。前年度も三学期に一名の落伍者が出てしまい、目前で達成できなかった。今年も薄氷を踏むようなことがなかったわけではないが、最悪の事態にならず、幸いであった。

「決断」に似た言葉で「判断」という言葉がある。「決断」と「判断」の違いは、答えがあるかないかである。どこにも答えがないものに自ら答えを作っていくのが「決断」で、既に答えがあるものに下すのが「判断」である。「判断」は誤ると時によっては取り返しのつかないことになる。君たちはこれから、様々なことに自ら「判断」を下さねばならない。これからもその力を育み、多くのことを学んでほしい。

未来に向かって歩み続ける君へ

第三学年主任
千代野　仁

多くの出会いと支えの中で歩むべき道を選んだ。子どもの頃から自分に関わる人達に色々な事を教わった。そして未熟さ故に恐れることはさほどなかった。

人生に幾つかの舞台があるとしたら、君にとってやっとやっとの第二ステージ幕開けなのでしょう。なんだかどきどきするね。

時間の流れと経験の中で成長する君は、迷い悩み、孤独を体で感じる重い時なるものを味わいます。しかし、すべてを、素直に勇気を持って受けとめましょう。乗り越えられるから、君にふさわしい試練がやってくるのです。さあ、体力、気力、満たされないがために溢れ出す濃厚なエネルギーを存分に消費して、これから何が起こるかわからない、楽しい楽しい男の道を、胸を張って生きてください。

卒業おめでとう。そして、ありがとう。

担任より一言

私自身最も勉強した三年間だったと思います。卒業おめでとう。お元気で。
（染野　幸弘）

夢は大きく……世界のために何事かを成し遂げる……そんな男であれ！
（竹内　昭夫）

大事なのは目標を持つこと。そして、目標達成に向けて努力すること。
（髙橋　伸夫）

Yes, you can.
（馬場　義浩）

一歩一歩、ゆっくりと、着実に歩んでください。
（坂巻　敦志）

愛され続ける人間になること。今後の活躍を願っています。
（畠田　和明）

文星で身につけた辛抱強さと明るさで、新しい一歩を踏み出してください。
（守谷　淳子）

卒業おめでとう。支えてきてくれた人たちへの感謝の気持ちを忘れないで下さい。
（長谷川裕二）

「明日死ぬつもりで生きなさい。永遠に生きるつもりで学びなさい。」［ガンジーの言葉］
（南木　和喜）

卒業オメデトウ。皆の未来が輝かしくなることを願います。
（小林　秀晃）

卒業おめでとう。
みんなの息子を担任することを心待ちにしています。
（根本　哲也）

人の気持ちは心が決める。心を鍛えて他人に優しい人間に!!
（長谷川　聡）

自分の目標をしっかりと持ち、それに向かい突き進んでください。
（海老原俊光）

一度だけの人生ですから、今だけを考え、一生懸命楽しんでください。
（田村　伸也）

卒業おめでとう！　ひとつひとつ熱くなれる獅子として頑張ってほしい。
（笹沼　芳幸）

第六期生徒会会長
田宮功一（3-7）

在校生の皆さん、こんにちは。思い返すと三年前、本校の第六期生として入学した私たちですが、本当にあっという間に時間が過ぎてしまいました。

私は生徒会長として、生徒会を更に発展させようと努力してきました。当初は、私のような大人しい人間に生徒会長が務まるのかと、不安に感じていましたが、人前で話すことなどを経験して、少しずつ成長できたと思います。また、頼りない私を支えてくれた役員の仲間や顧問の先生方にはいくら感謝しても足りません。

さて、私たちが卒業すると二年生は最上級生に、一年生は新入生が入り先輩となります。ぜひ、新入生とともに新たな文星の歴史を作り上げていって欲しいと思います。期待しています。

最後になりましたが、私たちを温かく見守ってくださった校長先生をはじめ、諸先生方、大変お世話になりました。本当にありがとうございました。まだまだ未熟な私たちですが、卒業後もご指導宜しくお願いします。

第七期生徒会会長
北見宗士（2-1）

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。先輩方にはいろいろとお世話になり、とても感謝しています。

「会者定離（えしゃじょうり）」という言葉があるように、出会いには必ず別れがあります。学校生活はその最たる例だと思います。先輩方、お一人おひとりの進む道はどれとして同じではありません。しかし、他者との出会い、別れは普遍的にあるものですから、この文星で培った仲間への思いやりの心を、卒業後の生活の糧にして頑張ってください。

これからは、私たちが新しく入学してくる新入生とともに、先輩方が誇りに思えるような文星を築いていきます。見守っていてください。

表彰者一覧

学校長賞
松原　宰栄

三ヵ年皆勤賞
猪俣　宏樹
ほか六十四名

十二ヵ年皆勤賞
北野　大地
菅谷　太嗣
鈴木　大基
塩澤　和俊

日本私立中学・高等学校連合会会長賞
平野　展崇
高藤　哲也

全国商業高等学校協会理事長賞
桜井　武志

宇都宮商工会議所会頭賞
鈴木　章太

産業教育振興中央会会長賞
山下　裕基

栃木県産業教育振興会会長賞
山下　恭平

全国珠算教育連盟賞
藤田　真二

日本珠算連盟賞
鈴木　章太

全国商業高等学校協会主催検定試験一級三種目以上合格者
桜井　武志
鈴木　章太
山下　恭平
山下　裕基

東関東吹奏楽連盟賞
揚石　祐真

栃木県吹奏楽連盟賞
青木　良平
ほか四名

栃木県バスケットボール協会優秀選手賞
福田　貴紀
後藤　優人

栃木県高等学校体育連盟優秀選手賞
中山　鐘太
ほか十四名

部活動精励賞
渡邉　草祐
ほか十七名

各種検定取得状況
（二月十四日現在）

【全商簿記検定】
原価計算一級
鈴木　久義
二級
大塩　啓太　沖杉　徹
鈴木　久義　田崎　正一
最上　祐也
三級
磯　正人　伊藤　雅人
齋藤　諒典　齋藤　和鷹
設楽　由宇　橋谷　将人
川上　陽平　竹澤　友貴
前嶋　瞭

【全商情報処理検定】
三級
伊東　拓真　稲葉　慎
鈴木　和裕　田中　慶亮
藤田　一樹　伊藤　雅人
齋藤　諒典　設楽　由宇
高橋　悠樹

【全商商業経済検定】
一級
桜井　武志　山下　恭平
三級
磯　正人　伊藤　雅人
齋藤　諒典　齋藤　和鷹
高橋　悠樹　横山　直諒
小関　隼輔　高嶋　恭平
前嶋　瞭　鈴木　義也
渡邉　匠

【全商スピード認定試験】
二級
小林　紫紀　田崎　正一
中川　陽介　設楽　由宇
三級
伊藤　雅人　高嶋　恭平

【全経電卓検定】
五段
鈴木　和裕
二段
稲葉　慎
二級
齋藤　和鷹
三級
伊藤　雅人　大関　翼
神山　嘉崇　唐澤章太郎
設楽　由宇　鈴木　義也
高庄　純　高橋　佑紀
高林　将太　渡辺　武至
渡辺　文也

【北関東簿記検定】
原価計算一級
小林　紫紀　中川　陽介
二級
鈴木　久義　最上　祐也
三級
伊藤　雅人　齋藤　和鷹
橋谷　将人　潮田　祐二
川上　陽平　前嶋　瞭
大越　一樹

【食物調理技術検定三級】
三十八名

予餞会

二月二十日（金）、予餞式並びに予餞会が実施されました。式典終了後の予餞会では、先生方の催しものや芸人によるステージがあり、会場は盛り上がりました。「ななめ45°」と「ゴーギャン職人」のコントは、テレビで見る面白さ以上のものがありました。

三年生も久々に仲間と過ごす学校生活で、笑顔にあふれていました。残り少ない高校生活を名残惜しく感じている様子でした。

輝け！文星健児 ～部活動報告～

十二月から二月にかけて行われた大会の主な結果を紹介します。

※（英）＝英進科
（総）＝普通科総合コース

卓球部

全国大会出場決定！！

十二月二十三日（火）から二十五日（木）にかけて、神奈川県平塚市「ひらつかアリーナ」にて第36回関東高等学校選抜卓球大会が開催された。

本校卓球部は、団体戦で5位入賞を果たし、三月二十四日（火）から愛媛県松山市で開催される全国選抜大会への出場権を獲得した。

全国の舞台においても文星健児の底力を発揮できるよう、健闘を祈りたい。

スピードスケート

野尻選手国体出場！！

一月二十八日（水）から二月一日（日）に青森県で開催された冬季国体「みちのく八戸国体」スケート競技に、本校の野尻大海選手（英一年）が出場した。

昨年十二月に行われた県予選会において男子総合2位の成績で県代表に選ばれた野尻選手。県予選で更新した自己ベストをさらに更新すべく本選に臨んだ。惜しくも決勝進出は果たせなかったが、力強い滑走で野州健児の意地を見せつけた。

国体《ショートトラック》（予選）
五百メートル　52秒86
千メートル　1分49秒07

バスケットボール部

県新人戦制覇
関東大会へ

一月十七日（土）、十八日（月）に県高校新人バスケットボール大会が開催された。

関東大会出場をかけ、熾烈な争いとなった今大会。本校バスケットボール部は決勝リーグでライバル宇都宮工業を撃破。さらに宇都宮高、作新学院を下し、見事全勝で大会を制し、関東大会（二月七日、八日に開催）へ駒を進めた。

関東大会　（神奈川県秦野市）
《一回戦》
本校 65―73 つくば秀英（茨城）

剣道部

県新人大会
団体3位入賞

一月二十四日（土）に県高校新人剣道大会に、本校剣道部が出場した。団体トーナメント準決勝で今大会を制した佐野日大に敗れ、決勝進出は逃したものの、作新学院と並び3位入賞を果たした。

柔道部

全国選手権県大会
団体4位入賞

一月二十四日（土）に開催された第31回全国高校柔道選手権大会県大会に、本校柔道部が出場した。団体トーナメント3位決定戦で作新学院に惜敗したものの、堂々の4強入りを果たした。

ジョイントコンサート

一月二十四日（土）、宇都宮市教育会館大ホールにて文星ジョイントコンサートが開催された。

今年で結成10周年を迎えた「文星ジョイントバンド」（本校音楽部と女子高吹奏楽部の合同バンド）の記念コンサートに、会場からは惜しみない拍手が送られた。また、本校和太鼓部の勇壮な演奏を始め、各部のパフォーマンスも観客を魅了した。

（学校誌「雄飛」にもコンサートの模様が掲載されています。）

インターンシップ

二月四日・五日・六日の三日間にわたり、総合ビジネス科二年生34名が小売業、サービス業など様々な業種の職場体験（インターンシップ）を行った。

進路目標の喚起と、社会人となる自覚を深めることを目的とした今回のインターンシップ。三日間の体験を終え、「辛かった」、「面白かった」、「頑張った」など、生徒達の感想は様々だが、その表情には最後までやり抜いた達成感が満ちあふれていた。

この経験を自己実現に活かし、今後の高校生活を充実させることを期待したい。

スキー・スノーボード実習

二月十七日・十八日の二日間にわたり、二年生スポーツコース選択者17名が福島県台鞍スキー場でスキー・スノーボード実習を行った。絶好のコンディションの中、生徒達はインストラクターの指導の下、上達も早く、それぞれ滑走を楽しんだ。実習後の感想も「楽しかった」、「またやりたい」など、実習を満喫した意見が多かった。スポーツコースならではの特色ある実習であった。

強歩会

前日までの雨が上がり、厳冬の晴天が広がった一月十一日（日）朝八時、「チャレンジ日光ロード」の参加者65名（英進科生徒53名、引率12名）が日光東照宮の前に集まった。一行は高らかに「ライオン主義」を唱えて出発、約38キロを完歩し、夕方までに学校に帰着する日程だ。

青々とした空にそびえる男体山を背に意気揚々と歩き出した一行は、時折休憩を挟みながらそれぞれのペースで宇都宮を目指した。そして午後六時までに全員が本校正門に到着し、保護者の方々の「おかえり」の声と温かい豚汁に出迎えられた。

足の痛みに耐えて歩き通した経験は、彼らの大きな財産となったことだろう。

この撮影から約8時間後、へとへとになりながらも、全員無事学校に到着しました。

激励会

一月十六日（金）、大学入試センター試験を翌日に控えた三年生を応援すべく、「受験者激励会」が行われた。

「合格」のハチマキをつけ緊張高まる三年生に向け、理事長先生、校長先生から激励が送られた。また、後輩たちから力強いエールを受けると、三年生は大学入試本番に向け、闘志が湧き上がる思いだったようだ。

国公立大学の二次試験は二月二十五日から始まる。三年生諸君の健闘を祈りたい。

先輩たちによる熱いエール。
「先輩方。最後まで頑張ってください」

中学校

卒業生に贈る言葉

副校長
上野　敬子

三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。保護者の皆さま、お子様のご卒業誠におめでとうございます。心よりお祝い申しあげます。

覚えていますか。皆さんは三年前に、真新しい制服に身をつつみ、夢と希望を胸いっぱい膨らませて元気に本校の門をくぐって来たことを。私は、校長としての校務をこなすのに精一杯でしたが、二十六名という子供ができて嬉しい思いと、三年間無事に元気で逞しく育って欲しいという願いがありました。

そして皆さんは、今本校を卒業しようとしています。三年間の様々な行事で、思い出もたくさん出来たと思います。家庭の都合で転校した友達もいました。私も授業や行事の中で皆さんとの思い出をたくさん作ることが出来ました。

高校は、中学校と違い義務教育ではありません。本校で身に付けた、勉学へ取り組む姿勢、精神力の強さ、仲間を思う大切さを高校生活にぜひ活かしてほしいと思います。本校の校訓である三敬精神「自己を敬へ、他人を敬へ、仕事を敬へ」と校是である「ライオン主義」を胸に、何事にも全力で取り組み、自らの意志と自らの力で将来の道を切り開いて下さい。

また、今日の日を迎えられたのは、自分一人の力ではありません。陰になり日向になり支えてくれた御両親をはじめ、校長先生や多くの先生方に感謝することを忘れないで欲しいと思います。

最後に、今後は本校の卒業生であるということを誇りに、更なる精進に努め、輝かしい成果を挙げてくれることを祈念しております。高校へ進学しても、中学校へいつでも遊びに来てください。

教　頭
阿久津　功

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様、お子様のご卒業誠におめでとうございます。心より祝福申し上げます。

皆さんは、本校の第二回卒業生であり、四月からは高校生となります。高校生活は義務教育ではありません。自ら目標を立て、自己実現に向けて日々努力していかなくてはなりません。自分が将来どのような職業に就くのかを研究することが必要です。その目標を実現するためにはどこの大学に入るのが一番良いかを探すことです。その大学に入るためにはどのような学習をしたら良いかを考え、毎日努力することです。勉強は、「自己実現のためにするものである」ということに気がついた時から学力は飛躍的に伸びるものです。常に知的探究心を持ち、様々な視点で物事を考える人になって欲しいと願っています。また、時にはスポーツをしたり音楽を聴くなど息抜きも必要です。

最後に、自分の目標を達成するまで中学校で培った「三敬精神」と「ライオン主義」を心に抱きながら諦めずに頑張って下さい。

学年主任　山本　誠一

三年生諸君、卒業おめでとうございます。この三年間を振り返って、どうでしたか。学校生活や数々の行事、たくさんの経験をしてきましたね。これらは、一生忘れることのない良き思い出となったはずです。

さて、諸君たちは第二回卒業生となります。開校して間もない本校を成長させてきたのは諸君たちであるといっても過言ではないでしょう。それほど、諸君たちの活躍はとても大きなものとなりました。

諸君たちは大きな節目である義務教育を終了するわけです。何かが終わりを迎えるということは、また新しい何かが始まるということです。

最後に、ぜひ新しい目標を胸に、自己実現できるよう頑張ってください。

三年一組　担任　稲澤　雅夫

今、終わろうとしている中学校時代。君たちが三年間歩んできた「中学生ロード」を回れ右して見下ろしてみて下さい。自分のいろんな姿が見えますね。写真や映像を見れば、その時の記憶は浮かび上がってきますが、感情までは映し出されていません。しかし、君たちが歩んできたロードは喜怒哀楽に満ちあふれた連続したドラマだったはずです。愉快な二十三名の仲間と過ごすことで『喜』や『楽』は十分味わえたでしょう。そこには無意識のうちにお互いの信頼と思いやる心が君たちの中に育ってきていたのです。しかし、『怒』や『哀』に苦しんでいたときの自分も当然存在していたはずです。友達のこと、勉強のこと、部活のこと。それは友達に対する怒りであり、自分に対する情けなさかもしれません。君たちはもがきながらもこれらの障壁を乗り越え、たくましく成長した姿を見せてくれました。困難にぶつかること、挫折を味わうこと、今後何度となく遭遇します。そのときそれが己を磨いていくチャンス到来と思い込むことも一つの考え方です。何度くじけてもいい。また立ち上がる工夫と努力をすれば。『七転び八起き』

副担任　阿久津　俊彦

ご卒業おめでとうございます。副担任となって一年が経とうとしています。教員一年目ということで、君たちに教えられ、迷惑もたくさんかけたと思いますが、ともに一年間学び、成長できたことをとても嬉しく思っています。

さて、卒業生の皆さんはどのような気持ちでこの卒業を迎えるのでしょうか。三年間学んだこと、経験したこと、思い出すことは一人ひとり違うと思います。しかし、このクラスで学んだことは皆一緒です。これから、高校生となり、やがては社会人となります。皆さんが、自由に未来を作り出す新しい生活が始まります。ぜひ、大きな目標と夢を持って、新しい生活に取り組んでください。中学校生活で学んだことがその礎となってくれれば、幸せです。そして、私と関わったことが、皆さんのお役に立てていればこの上ない喜びです。

スキー教室

一月十三日(火)から十五日(木)に、福島県の猪苗代において、中学一・二年生を対象とした二泊三日のスキー教室が行われました。三日間の活動を通して、冬の自然に感動を覚えた生徒が沢山いたようです。また、スキーを楽しむだけでなく公共の場でのマナーを学ぶ良い機会となりました。

参加した一年生の感想を紹介します。

一年一組　小林　弘和

僕はスキー教室に行って沢山のことを学びました。

まず、第二リフトに乗って頂上に行った時のことです。頂上からは磐梯山や猪苗代湖が見えました。さらに、山の木の上に雪が積もっていてとても綺麗でした。全員でつながって滑ったりもしたのですが、全員でドミノ倒しになり、とても痛かったです。三日目は風が強かったことを覚えています。リフトに乗るとすごく揺れるので怖かったです。乗っている間に三回も止まったので更に怖かったです。スキーをしても向かい風のせいで進まず大変でした。最終的に風はやみましたが自然のすごさを身をもって知りました。

一年一組　佐々木　裕

僕は、スキー教室に行って感動したことが三つあります。

一つ目は、生まれて初めてスキーをしたので、最初は面白くないと思っていたけれど、滑れるようになると、とても楽しかったことです。

二つ目は、スキー場の景色がとても綺麗だったことです。スキー場は僕が思っていたより狭かったけれど、リフトを降りてからの眺めがとても綺麗だったことに感動しました。

そして一番感動したことは、スキー場で僕たちにスキーを基本から教えてくださったインストラクターの人たちのことです。怖くて滑ることのできなかった友達に、一対一でスキーを教えているところを見かけました。その友達は次の日には、滑ることや止まることができていたことに、僕はとてもびっくりしました。インストラクターの人はすごいなと感動しました。

学力診断テストを終えて

三年一組　押久保　賢一

勉強の成果を向上させるための一番良い方法は、先生の話をしっかり聴くことだということを実感した。これは、絶えず意識しなければならない。

僕は、理科が不得意であった。先生の話を聞かず、寝てしまう時さえあった。定期テストはいつも低い点数だったが、通知票の成績は何故か悪くなかった。その理由は、先生の話を良く聴いているように思われていたからかもしれない。聴いているふりでは当然知識が不足し、テストの出来はいつも悪くてやる気もなくなり、勉強がますます嫌いになっていった。

ある時、「このままではいけない」と思い、先生の話をしっかり聴くことから始めてみた。すると、成績が徐々に良くなり、どんどん勉強が楽しくなって、自分から積極的に授業を受けるようになっていった。

後輩の皆さんも、つまずいたときにはまず先生の話を聴くように心掛けてみてください。

三年一組　山根　聡太郎

私は試験(学力診断テスト)を受けるにあたって、大切なことにいくつか気がついたので述べたい。

一つ目は、体力と精神力である。問題を解いていると体力は消費されていく。さらに、受験会場は、とにかくピリピリと空気が張り詰めているので、精神力の消耗が激しい。そのため集中力が失せてしまい、精神的に厳しかった。

二つ目は服装だ。普段、ワイシャツの第一ボタンをはずしたり、ブレザーのボタンをはずしたりしていると、当日かなり窮屈な思いをする羽目になる。そうなるとやはり、集中力がうまく高まらない。常に服装を整えて生活することは基本だと思う。

三つ目は、文星中の生徒ならではのことだと思うが、他校の生徒より緊張しないことが逆の作用を及ぼすことになると思う。周りが静かになっているにも関わらず、騒々しいのは悪い印象を与えてしまうからだ。

以上が私が受験してみて大切だと感じたことだ。

生徒会役員選挙

二月四日(水)、第三期中学校生徒会役員選挙が行われました。定数よりも立候補者数の多い役職(会長・会計)については普通投票を行い、定数を満たしている役職(副会長・書記)については信任投票を行いました。投票を行う前には、各立候補者とその応援者による立会演説会が行われ、それぞれが生徒会にかける熱い思いをスピーチしていました。

第三期生徒会

会長	二年	森下　雅俊
副会長	二年	石井　健太
	一年	赤澤　美徳
書記	一年	佐々木　裕
会計	二年	寺田　篤弘

生徒会役員に選ばれた5名
(左から)赤澤・石井・森下・寺田・佐々木

新生徒会長
二年一組　森下　雅俊

第三期生徒会会長に当選した森下雅俊です。私には、誰にも負けないやる気と熱意があります。私が会長に当選したからには、必ず文星中学校を変えていきます。我々には可能性があり、私はその可能性を伸ばしていける生徒会を目指したいと思います。

まず、前生徒会では着手できなかった「ベルマーク運動」や「あいさつ運動」などに挑戦し、この学校を挨拶があふれる学校にしていきたいと思っています。また、文星はあらゆることに挑戦できる学校なので、新しいことにもどんどん挑戦したいと思います。

会長という役職にやる気を感じている今、他の四人をまとめ挙げ、四人と一緒に団結して仕事をしていきたいです。生徒会長とは、決して楽な仕事ではありません。しかし、その名に恥じぬように日々努力をしていきたいと思います。そして、この仕事をやり遂げたときには、今回の生徒会は良かったと言われるよう頑張ります。

立志式

二月二十三日(月)に、二年生の立志式が行われました。立志式は、これまでの成長とこれからの未来を祝福する意味を込め、将来の希望や目標に向かって前向きに取り組もうという決意を新たにする行事です。校長先生はじめ、理事長先生、PTA会長など多くの方々からお祝いの言葉をいただきました。また、本年度の記念講演は、本校の卒業生で、現在、早稲田大学理工学部応用数理科四年生の高津戸雄飛さんにしていただきました。これを機会に、それぞれの意識が大人へ近づくことを期待しています。

生徒代表として、小沼佑耶君が述べた立志の誓いを紹介します。

記念講演
高津戸　雄飛さん

二年一組　小沼　佑耶

私には今現在、これと決めた将来の夢が見つかっていません。クラスの友人たちが皆将来に向けての夢を持つ中で、少しあせる気持ちもありますが、自分自身の将来を決めることはとても重要なことだと思い、慎重に考えている最中です。

先ほど将来の夢は見つかっていないと言いましたが、興味のある職業はいくつかあります。例えば、トラックなどの大型の輸送機械の運転などをしてみたいと考えています。他にもいくつか関心のある職業がありますが、果たして本当に自分のやりたいことか、よく分からない面もあります。こうした中で、立志式を迎えるにあたり、私なりに三つの誓いを立てました。

第一に、問題意識を持って勉強に取り組むことです。これまで思うような成績が残せず、何とかしようと思いましたが、漠然としたまま今に至っています。ですから今後は、問題意識を持って学習に取り組みたいと思います。学校では先生の話をしっかり聴き、家庭では必ず復習に取り組めるよう心がけていきます。

第二に、目標とすべき職業を探し、その職業をよく研究し、求められる資質を磨くことです。私は思いつきや、単に面白そうだということで将来就くべき職業を決めるべきではないと考えています。残された中学校生活の中で、どんな職業があり、どのようなことが求められるのかを学んでいき、目標として高く掲げられる職業を、必ず探し出します。

第三に、今できることは今行うよう心がけることです。私たちが今過ごしている中学校生活は今だけのものであり、決して戻れるものではありません。大人になったときに後悔の無いよう、今何をすべきかを常に考え、すぐに取り組めるよう努力していきます。

この三つの誓いを心に刻み、よりよい未来を築く社会の一員として、大人への第一歩を踏み出したいと思います。

決意の言葉
二年　小沼　佑耶

進路講話

一月二十四日(土)に、全校生を対象として、中山先生から次の三点に重点が置かれた進路講話が実施されました。

○人生における「進路」とは、自分の生き方を見つけ、自己実現を図るために進むべき道である。
○自分の行く道が見つかり、それを進むにはどうしたらよいのか。
○本当にやりたいことが生涯の職業として実現できたら幸せである。

部活動

バスケットボール部

十二月七日(日)に宇河地区バスケットボール協会会長杯が行われました。結果は、予選リーグで敗退してしまいました。

また、一月十日(土)に宇河地区一年生バスケットボール大会が行われました。結果は、一回戦で敗退してしまいました。

部員五名と少ない人数ですが、今後とも一生懸命練習に励んでいきますので応援よろしくお願いします。

文星散歩道③

『地球温暖化』

社会科　荒井　祐也

（題字　大木副教頭）

ここ数年「地球温暖化で地球が危ない」とよく耳にする。寒さの苦手な私にとっては有り難いのだが、今年の冬も相変わらず寒く、残念ながら地球温暖化はあまり実感できない。

地球温暖化についてはほとんどの人がご存知だと思うが、温室効果ガスなどが原因で地球の気温が上がる現象である。温室効果ガスの一つである二酸化炭素は、三百年間は地球にとどまり、累積的な効果を与えるそうだ。また、温暖化によって氷河、海中にあるメタンガス(牛のゲップにも含まれている)や二酸化炭素などが大気中に放出され、温暖化が温暖化を呼ぶ負のスパイラルに陥っている。このままだと二〇五〇年には地球の気温が平均三度上昇し、百万種の生物種が絶滅し、アマゾンの熱帯雨林は枯れ始め、さらに多量の二酸化炭素が放出されるという。平均気温が三度上昇すると、海面は約百メートル近く上昇する。宇都宮の標高は約百メートルである。もしこのままのスピードで地球温暖化が進むと、宇都宮は海になってしまうかもしれないのだ。

と、こんな非現実的なことを言われても私自身はまったく想像がつかない。世間では、自分のできることから地球に優しいことを始めようと言われている。私も地球のために何か小さなことから始めてみようかと思う。

各種表彰

第六十回宇都宮地区書初展

金賞　一年　佐々木　裕
銀賞　三年　岡本　源二郎
　　小倉　一富史
銅賞　各学年　四名
入選　三年　十五名
　　二年　十一名
　　一年　十二名

第六十二回河内地区理科研究展覧会

銅賞
「お金をキレイにしよう」
一年　佐々木　裕

文星フォトギャラリー

インターンシップ／総合ビジネス科

ジョイントコンサート／音楽部

スキー教室／中学校

スキー・スノーボード実習／スポーツコース

書初め／中学校

予餞会

予餞会／新任職員

予餞会／職員